

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 11 日

熊本県知事 木村 敬殿

提出者

住所 熊本県上益城郡山都町南田220-1

氏名 矢部開発株式会社
代表取締役 上田 信

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0967-72-1010

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	矢部開発株式会社
事業場の所在地	熊本県上益城郡山都町南田220-1
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業 (土木工事業・とび、土工工事業・舗装工事業・水道工事業)
② 事業の規模	令和5年度完成工事高 1,693,624千円 (2年平均)
③ 従業員数	60人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>工事受注 (リサイクル証明書) → 処理計画書 (処理委託契約) (計画書作成) → 処理実施 (マニフェスト作成) → 工事完了 (実施報告書作成)</p> <p>工事現場 → 収集運搬 (自社・委託) → 処理場 (中間・最終)</p>

(日本工業規格

A列4番)

受付
6.6.11

御保第

号

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役(統括責任者)



担当取締役(廃棄物管理責任者)



現場責任者(廃棄物担当者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 (5 年度) 実績】								
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス・陶磁器くず	混合	汚泥	
	排出量	4,703.67 t	80.49 t	5.02 t	0.76 t	5.13 t	5.69 m3	
	産業廃棄物の種類							
	排出量							
(これまで実施した取組)								
主に建設工事に伴うため排出の抑制は難しい。								
【目標】								
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス・陶磁器くず	混合	汚泥	
	排出量	6,000.00 t	150.00 t	20.00 t	20.00 t	20.00 t	20.00 m3	
	産業廃棄物の種類							
	排出量							
(今後実施する予定の計画)								
主に建設工事に伴うため排出の抑制は難しい。								

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	再生利用を原則としている為、がれき類はコンクリート及びアスファルトに分別して随時搬出している。							
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	再生利用を原則としている為、がれき類はコンクリート及びアスファルトに分別して随時搬出します。							

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（5年度）実績】												
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス陶磁器	混合	汚泥					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	m ³	0.00	t	0.00
産業廃棄物の種類												
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
(これまでに実施した取組)												
自社で産業廃棄物の再生利用の実施はない												
【目標】												
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス陶磁器	混合	汚泥					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	m ³	0.00	t	0.00
産業廃棄物の種類												
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
(今後実施する予定の計画)												
自社で産業廃棄物の再生利用の実施予定はない												

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（5年度）実績】												
① 現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス陶磁器	混合	汚泥					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	m ³	0.00	t	0.00
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
産業廃棄物の種類												
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
(これまでに実施した取組)												
自社で産業廃棄物の中間処理の実施はない												
【目標】												
② 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス陶磁器	混合	汚泥					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	m ³	0.00	t	0.00
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
産業廃棄物の種類												
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t		t		t		t		t		t
(今後実施する予定の計画)												
自社で産業廃棄物の中間処理の実施予定はない												

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス陶磁器	混合	汚泥		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	m3
産業廃棄物の種類									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
自社で産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の実施はない									
【目標】									
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス陶磁器	混合	汚泥		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00	t	0.00	t	0.00	t	0.00	t 0.00 t 0.00 t
産業廃棄物の種類									
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
自社で産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分の実施予定はない									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（5年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス・陶磁器くず	混合	汚泥		
	全処理委託量	4,703.67	t	80.49	t	5.02	t	0.76	t
優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	4,703.67	t	80.49	t	5.02	t	0.76	t	5.13 t 5.69 m3
認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
全処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料		t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
再生可能な廃棄物は、中間処理場に委託し再生した。									

【目標】									
① 計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ	ガラス陶磁器	混合	汚泥		
	全処理委託量	6,000.00 t	150.00 t	20.00 t	20.00 t	20.00 t	20.00 m ³		
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量	6,000.00 t	150.00 t	20.00 t	20.00 t	20.00 t	20.00 m ³		
	認定熱回収業者への処理委託料								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
	産業廃棄物の種類								
	全処理委託量								
	優良認定処理業者への処理委託量								
	再生利用業者への処理委託量								
認定熱回収業者への処理委託料									
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
(今後実施する予定の取組)									
再生可能な廃棄物は、中間処理場に委託し再生する									
※事務処理欄									

